

洛西だより



# 竹の子

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～

令和4年7月20日発行  
京都市立洛西中学校  
文責：校長 小林鉄男  
第5号



## 1年生が、人権学習【福祉体験(1)】を実施！

7月8日（金）に、1年生は人権学習（福祉体験）に取り組みました。講師の先生は、本校がお世話になっている、視覚障がい者の松永信也（まつなが のぶや）さんです。松永さんには、ほぼ毎年お話をと体験活動のために来ていただいており、今年で18年目になります。2・3限は、松永さんからご自身の視覚障害についてお話をいただき、「苦労することははあるけれども不幸とは思わない。」と前向きに語りかけていただきました。病気が原因の視覚障がいを受け入れるまでに1年間かかったことや、ライトハウスで歩行や点字を学んで街を歩けるようになったことや、人間は落胆もするけれど、そこから強く生きることができることなどを、経験に基づいてお話をいただきました。

続いて4限から6限までは、1年生各学級1時間ずつ時間を取り、“点字”の学習に取り組みました。点字は指の先で触って“読む”文字で、手で触ってわかるように「ぼこっ」と盛り上がっています。一番多くて点が6つあり、点の組み合わせで“点字”は作られています。講師の先生方から“点字”についての基本をわかりやすく教えていただいた後、実践練習に取り組みました。自分の名前を点字で書いたり、短い文章をつくることもできました。



## 1年生が、人権学習【福祉体験(2)】を実施！

7月11日（月）2限～4限まで、1年生は先週に引き続き福祉体験学習として、手引き体験に取り組みました。「手引き」とは、視覚障害の方に腕を持ってもらって誘導することです。講師は松永信也さんと西京視覚障害者ボランティア・ジョイントの皆さんにもお手伝いしていただきました。最初に手引きのときの大切なポイントを教わり、あとは2人のペアをつくり、交代して手引きの体験を行いました。北校舎2階の会議室からスタートし、2階渡り廊下にコーンで設置した細い通路を一列で進みました。そして南校舎の階段を降り、グランド側の通路を通って体育館前まで手引きしてきました。手引きをする人とアイマスクをする人が交代し、帰りは逆のコースで会議室に戻りました。「階段です」「低い段差があります」など、細かい状況を伝えながら進んでいくと次第に不安が解消されていました。ジョイントの方から、手引き者の肘をしっかりとつかんでいることや、言葉でうまく伝えられるかどうかがポイントであるとアドバイスがありました。また、平坦なところは普通の速さで歩く方がよく、ゆっくり歩くとかえって相手に何かあるのかと不安を与えてしまうことがあります。体験をして大変だったと思いますが、アドバイスしていただきながら手引きの基本を理解することができました。

本日の学びを生かして、白杖を見かけたときに「お手伝いしましょうか。」と自分から声をかけ、



相手の方のご要望に応じて手引きができれば、素晴らしいですね。社会を自分たちの手でより良くしていく皆さん行動で、洛西の町はもっと過ごしやすいところになるでしょう。ご講演と手引き体験など、これから生きていくうえで大切なことを学びました。生徒の皆さんとふれあいを大切にしながらご講演いただきました松永様に、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。



## 「2・3年生が東日本大震災を学ぶ！」

7月11日（月）5限に2年生が、6限に3年生が、「ミナソラ講演会」として、ボランティア団体「ミンナソラノシタ」の方々におこしいただき、講演テーマの「震災を忘れない～そのときに起こったことと自分たちにできること～」についてお話を聞きました。生徒達は、震災と震災での被害について忘れないようにしっかりと聞くことができました。今日の講演を聞いて、東北で被災された方々に思いをはせ、他人を思いやる気持ちが育まれたと思います。どんなに月日は経とうとも、自分たちができるることは何かを考えて、日頃の行動に生かしてほしいと願っています。



## 2年生が防煙教室に取り組む！



7月4日（月）5・6限に、2年生が体育館でNPO法人京都禁煙推進研究会のお医者さん、洛西子どもはぐくみ室の職員の方、看護学校の学生さんにお越しいただき、体験型防煙教室に取り組みました。

NPO法人京都禁煙推進協会のお医者様よりお話をいただき、著しく成長・発育する時期にある中学生にとって、喫煙は心身へ大きなリスクになることや、タバコの害や体への影響といった健康に関する正しい知識を学びました。未成年期の喫煙は、喫煙しない未成年者に比べて、身長・体重や持久力など体力が劣っていること、ニコチンには強い依存性があり、吸い始めると、年齢が若いほどニコチンへの依存度の高い人が多くなること、未成年期に喫煙を開始すると、肺がんの死亡率が喫煙しない人と比べ5.5倍になることなどを教えていただきました。また、後半は、グループ別に体験コーナーでの活動を通して、より具体的にタバコの影響や世界各国の取組なども学び、世界中で対策を考えなければならないことに気が付きました。自分たちにできることを考え、タバコについて学んだことを活かして、地域や社会で啓発できることにつなげてほしいと思います。



## 1年生が非行防止教室に取り組む！



7月12日（火）5限に、1年生が非行防止教室に取り組みました。京都府警から京都市教育委員会生徒指導課へ出向しておられる現職の警察官の方からお話をいただき、物事の善悪を正しく理解し、いつも正しい行動ができるように取り組みました。SNS等のトラブル（加害、被害両方）については、ネット上には悪意を持った人がおり、被害にあう中学生が増えてていることや、逆に誤った書き込みや投稿が、時に「犯罪」として取り上げられる可能性があることなど、ケータイ・スマートフォン等は、ルールを守って使用することが大切であることも学びました。この学習を活かして、1年生の皆さんのが規範意識がさらに高まるることを期待します。



## 1年生・3年生が性教育学習に取り組む！

1年生は、6月30日（木）6限に性教育の講演会を実施し、LGBTと性の多様性について講師の先生からお話を聞きました。講演はとてもわかりやすく、6月27日（月）にも各学級で事前学習に取り組み、しっかりと性に関して学ぶことができました。この取組を通して、自分自身を大切にして、相手の心と体を思いやる行動がとれるようになってください。

3年生は、7月15日（金）5限に本校で勤務経験のある先生から、「知ってください本当に大切なこと」と題して、性教育学習に取り組みました。性感染症やエイズ、妊娠中絶など統計資料などを紹介されながらわかりやすくお話してくださり、自分のため・相手のため・家族のために、学んだことを生かしていってほしいと思います。若い人たちの性感染症が増加していることから「男女の関係において、何より大切なことはお互いの心がつながっていることです。決してあわてることなく！」と締めくくられました。氾濫している情報に惑わされることなく、正しい認識に基づいて行動できることを願っています。



## 3年生 最後の夏季大会が始まる！

7月2日（土）から夏季大会が各部の日程で始まりました。1回戦が行われた部と夏休みに入ってから行われる部に分かれていますが、これまで仲間と共にコロナ禍を乗り越え、部活動に取り組んできたことに自信を持ち、夏季大会では諦めずに全力プレーで挑んでいます。3年生は最後の夏季大会で、仲間と共にチームワークを高め善戦しており、充実感に満ちた皆さんの表情は素敵でした。そして相手チームに少しでも追いつこうとする場面では、最後まで決して諦めることなく、ひたむきにプレーをしている姿が素晴らしいと思いました。これまでの部活動で培った粘り強く努力を続ける経験を生かして、これからは進路実現に向けて一歩一歩を確実に進んでほしいと思います。一人一人の夢の実現に向かって、仲間と共に励まし合い、互いに高め合って頑張りましょう。



## 夏休みを迎えるにあたって！

新型コロナウイルス感染対策が続く中、教育活動も少しずつ緩和されて1学期が無事に終えられてうれしく思います。明日から夏休みを迎えるにあたって、皆さんに大切にしてほしいことがあります。

一つ目は、夏休み中も「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しい生活を心がけて計画的に過ごしてください。その心がけが病気やケガの予防となり、一日一日を大切に過ごせることにつながります。

二つ目は、個人懇談で伝えられた教科の弱点克服に努め、各教科の課題を計画的に取り組んでください。夏休みに実施される補充学習では、各自の学習進度に合わせて主に英語と数学の学習内容を復習や夏休みの課題に取り組みます。希望する人は、積極的に参加してください。3年生は、高等学校の説明会やオープンキャンパスに参加し、その学校の雰囲気などをつかみ、進路選択に役立ててほしいと思います。1・2年生の復習も計画的に行い、時間是有効に使って着実に力をつけてください。

三つ目は、1・2年生の皆さんにとっては夏季大会後より、各部において新チームづくりが始まります。特に、2年生はチームリーダーとしての自覚と責任をもって、日々の練習からチームワークを高めてください。部活動に一生懸命取り組んで自分を磨き、皆さんにとって有意義な夏休みになりますことを願っています。



